

# 特集1 福祉ふれあいまつり

ノーマライゼーション  
(差別のない社会)を目指して  
障がい者も健常者も  
共に支えあい楽しもう!



## 共に生きる福祉のまち大田原

### まつりのはじまり

大田原市福祉ふれあいまつりは今年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となりました。23回の歴史では、新型インフルエンザの影響による平成21年、台風19号の影響による令和元年以来、3回目の中止となります。イベント中止で寂しさを感じている障がい者や参加者も少なくないことでしょう。

一方で、このまつりが始まった経緯を知る人は、どれだけいるでしょうか。この機会に「福祉ふれあいまつり」の経緯について振り返ってみたいと思います。

このまつりが始まったのは、22年前の平成10年12月6日。会場は福祉センターで行われました。それまで「障害者の日(12月9日)」に関連した市主催のイベントはありませんでした。障がい者の社会参加を目的とした福祉のまつりができないかという話上がり、ボランティア連絡協議会や障がい者団体を中心となり、12月に実施することとなりました。実施内容は、「大田原市福祉ふれあいまつり実行委員会」が設立され、その中で熱く協議されました。

### 福祉ふれあいまつり実施の意義

障がい者も健常者もまつりに参加することで、自分を表現することができ、自信につながる場となっています。また、障がい者と健常者が共に同じ目的をもって楽しむことのできるまつりは、親睦を深め、相互理解の場として大切な役割を担っています。



#### 3つの目標

- ①障がい者と健常者が共に暮らすノーマライゼーションを目指す
- ②郷土芸能の周知
- ③福祉教育の推進



翌年から会場を総合文化会館に移して実施され、会場のバリアフリー問題など多くの課題がありました。が、ひとつひとつ解消し、いつしか市を挙げての大きなイベントへと成長していきました。

# 加団体の皆さんの声

## SELP(セルプ)みなと

毎年、クッキーやコーヒーの販売に参加しています。販売を通して、地域の方や他施設の方と交流が持てることを楽しみにしています。これからも楽しみながら参加したいです。



## 大田原市身体障害者福祉会

楽しく焼きそば・お餅を販売しました。2年連続雨の中の模擬店でしたが、障がい児者等保護者会の皆さんと協力し楽しんで販売し、おかげさまで完売しました。これからも楽しみながら参加したいです。



## フードバンク大田原

「フードバンク大田原」が、県北地域の生活困窮者やひとり親家庭や施設への食料支援に取り組んで7年。活動資金を得るために仲間で作った手芸品などを販売し、皆さまにご利用いただきました。これからも熱いご支援を！



## くらしの会

押し入れに眠っている贈答品などを提供していただき、「福祉バザー」として販売しています。この活動は、まつり開始時から行っており、参加者の皆さんとの交流を楽しみに活動しています！

## 障がい者支援施設かりいほ

障がい者支援施設かりいほでは、リース・施設で作っているお茶の販売や結び織りの販売をしました。福祉ふれあいまつりを通して地域の方との交流もでき貴重な経験となっています。



## 那須共育学園ホープスターズ&Jr.

まつりが始まった22年前からバンド演奏の発表をしています。地域の方々と交流ができる素敵なおまつりです。これからも「ホープスターズ&Jr.」の応援をよろしくお願いします！



## ひよこの会

ひよこの会は、障がいをもつ子の親が立ち上げた会です。国際医療福祉大ボランティアサークル「アジサイ」の皆さんと一緒にダンスを踊っています。



年齢もダンスもバラバラですが、楽しく生き生きと踊っている姿を多くの人に見ていただきたいです。

## 大田原市障がい児者等保護者会

保護者会のみんなで美味しいものが提供できるよう、毎年レシピを工夫しながら模擬店を出しています。まつり参加の皆さんの笑顔が私たちの楽しみのひとつです！これからも楽しんで参加していきたいです。



# 福祉ふれあいまつり参

## 那須共育学園

日頃の活動で作成している作品の販売をしています。障がい・年齢に関係なく、さまざまな方たちが参加し、利用者の中でも恒例行事になっています。これからも楽しみながら参加したいです。



## 大田原市地域自立支援協議会当事者部会

自立支援協議会当事者部会ではふれあいまつりを通じて、ヘルプカード・ヘルプマークの周知活動を行っています。このような催しは、障がい者福祉を一般市民の方の目に触れる貴重な機会だと思います。



## 大田原市社会福祉協議会

例年、赤い羽根共同募金で参加しています。ご協力ありがとうございます。コロナ禍の中でも、地域の支えあいとつながりづくりのため大田原を良くする地域福祉活動に取り組んでいきます。



## ボランティア連絡協議会の役割

ボランティア連絡協議会は、大田原支部と黒羽支部があり、通常はそれぞれの団体が独自の活動をしています。福祉ふれあいまつりは、ボランティア連絡協議会としてみんなで力を合わせてまつりを盛り上げていくこと、また、参加して下さる方や見に来て下さる方が楽しく過ごしてもらえるよう支援していくことが役割だと思っています。同時に、私たちも一緒に楽しみ、多くの皆さまにボランティア活動を理解してもらう機会にしたいと思っています。みんなが協力し合うことによって、大田原市の福祉が充実することを願っています。



## エルムの園

毎年、聖歌隊(合唱)によるステージ発表をしています。また、皆さんの前で発表できる日を楽しみに練習したいと思います。模擬店での買い物も楽しみのひとつ！みんなで参加できるのを一同心待ちにしています。

# 今後の課題

## 従来からの脱却

ここ数年、費用などの問題から、今までのようなやり方でまつりを実施していくことが困難になってきており、福祉ふれあいまつり実行委員会では、昨年度から実施方法の見直しなどの話し合いを進めてきました。

そのような中、新型コロナウイルス感染症の問題が浮上し、障がい者団体、障がい者施設、出演者、まつり関係者など、参加者同士のふれあいを通して楽しむ福祉まつりの魅力を、安心して実施することが困難な状況になってしまいました。

リモートでの実施や、YouTubeなどメディアの活用についても議論されましたが、個人情報などの問題が生じています。そして、何よりも「人のぬくもりを感じるふれあい」ができません。

# 年表

第1回 平成10年12月6日  
福祉ふれあいまつりが始まりました。



第7回 平成17年10月23日  
合併して初めての実施。

第12回 平成21年10月18日  
新型インフルエンザ感染拡大を考慮し中止となりました。

第20回 平成21年10月18日  
大田原市文化会館の改修工事に伴い会場を那須与一の郷道の駅に移して実施しました。



第22回 令和元年10月19日  
黒羽ピアートホールで実施予定でしたが台風19号の影響により中止となりました。

第23回 令和2年10月24日  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

いことが、今後の福祉まつりの大きな課題です。ここは、初心に返って一から見直す好機と捉え、本来の目的である「障がい者も健常者も共に支えあい楽しもう！」が安心して実施できることを市民の皆さんと一緒に考えていきたいです。

福祉課 本3階 TEL(23)8921



大田原市福祉ふれあいまつり実行委員会  
委員長 久保 勝  
実行委員長4年目になりますが、このまつりは障がい者の社会参加、あるいは健常者との共存・共栄をスローガンにした催しです。意義が難しく、普段より関心のある地域住民が少ないこと、加えてバリアフリー対応を含め会場の問題など、先代の方々がご苦労されたことが伺えます。

今年はコロナ禍で三密を避けるためオンライン技術を使った福祉まつりを議論して参りましたが、残念ながら中止の判断をしました。

今後は高齢者福祉と障がい者福祉の共通点を鑑み、さらにはオンライン技術を使った福祉まつりを検討し、国際医療福祉大学が持つノウハウも学び、実施していきたいと思えます。



委員長 久保 勝  
まさる